

あなたとつながる最上町議会

No.178

# 議会だより

2022年  
令和4年11月10日発行

9月定例会



## 僕が書いた絵が陸羽東線の顔になったよ

鉄道開業150周年記念事業として、土日祝日に仙台駅から新庄駅間を運転している「快速湯けむり号」のヘッドマークデザインを山形、宮城両県の沿線住民から募集し、応募総数125作品から選出された8作品の中で、最上町の結城慶くん(けい)の作品が選ばれて9月23日から10月30日まで掲げられ運行されました。

今回デザインを描いた結城慶くん(写真左)と、お兄さんの結城壽くん(写真右)から最上町の好きな所と陸羽東線への想いを聞きました。

詳しくは、裏表紙の「わたしの想い」をご覧ください。

# 9月定例会

会期：9月13日(火)～22日(木)

**諮問 1件**  
最上町人権擁護委員の候補者の推薦

**規約の一部変更 1件**  
最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更

**議案 11件**  
令和4年度一般会計補正予算(第5号)  
令和4年度国民健康保険事業 特別会計補正予算(第2号)他

**報告 1件**  
令和3年度 決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告

**認定 11件**  
令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定  
令和3年度国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算の認定 他

**追加議案 1件**  
令和4年度一般会計補正予算(第6号)

**全26件**  
全会一致  
原案どおり可決

## 令和4年度 一般会計 特別会計補正予算

# 赤倉温泉スキー場 民間施設 町で取得へ!!



▲今後どのように活用していくのか

**問** 赤倉温泉スキー場にある民間施設を町で取得するという事だが、今後どのように活用するのか？

**答** スキー場内において収容規模の大きい施設で

あり、休憩・休息機能が低下することでスキー場全体の経営にも影響を及ぼすことが予測されます。町でこれらを取得することで、利用者に不便をきたすことがないよう休憩所として活用していきたいと考えています。

### 園児置き去り

**問** 他県では園児バスでの痛ましい事故が再び起きてしまったが、町の対応は大丈夫か？

**答** 現在3台のバスで園児の送迎事業を行っており、運転手の他に必ず1名添乗員が同乗することになっ



▲園児の安全確保を徹底

ています。日々乗車名簿で一人一人確認しながら乗降を行い、保育士への確実な引継ぎを行っています。降車後は添乗員が忘れ物等の確認をし、さらに消毒作業のため再度バス全体を点検することとしており、二重、三重のチェック体制をとっています。

今後も常に危機感を持ち、幼児の安全確保を最優先に、日々の安全確認の徹底を図り、事故防止に努めて参ります。

### 燃料・肥料価格高騰 農家支援へ

**問** 燃料価格高騰対策支援金の内容は前回と変わるのか？また、肥料高騰に対する町独自の支援は？

**答** 6月定例会で予算化した燃料価格高騰対策支援金の増額補正となります。6月補正の時点では支援対象施設についてビニールハウスのみ算定していましたが、建物でも生産活動を行っている対象品目があることから、対象施設が増加したことによ



▲農家を取り巻く環境は厳しくなっている

る増額補正になります。肥料高騰対策については、今の段階で国から示されている支援について県から肥料取扱業者や行政機関に対し、説明を行っている状況です。

支援内容は肥料価格上昇分の7割を補助するものになっていますが、山形県が補助対象外の3割の半分の補助するとの情報があります。県の補助要件として、町にも協調補助が求められるものであれば、町の支援も検討することになります。現在のところ町単独での支援については検討していない状況です。

### 最上病院 人材確保

**問** 看護師などの人材確保の状況は？

**答** 看護師については、近年は募集しても応募者が無く、不足している人員を退職した職員で補充しております。このため年1回の募集期間に限らず随時募集することとし、広報やハローワークなどを通じて人材募集を行っています。今年度はこれまでに経験者2名の方が試験に合格しておりますが、新卒者の確保はなかなか進まない状況です。

**問** 人材が集まらないのは、待遇面に問題があるのでは？

**答** 病院の魅力を高めるとともに、人材育成と働きやすい職場づくりに努め、インターシップの受け入れなども行っております。



▲医療現場でも人材確保が長年の課題

すが、人口減少の中、地元人材も激減しており、当院をはじめ県内の他の公立病院や民間医院も人材確保に苦慮している状況です。

看護師も不足しておりますが薬剤師などは特に何らかの優遇が必要になっていると捉えております。また、町外の方を採用した際の住宅確保を含めまちづくり全体で魅力を高めていく必要があります。

### 給食センター

**問** 外構工事1074万7千円の内容、なぜ今回の補正になったのか？

**答** 今年度建設中の炊飯施設及びアレルギー対策室周辺を舗装し、除雪に支障をきたす木を伐採する工事で、建設工事を優先的に進める必要があったため、外溝工事は補正対応としたものです。

**人事案件**  
人権擁護委員  
菊池 ゆかり氏(向町)  
任期 令和5年1月1日から  
令和7年12月31日まで

### 危険空き家

**問** 現在、危険空き家は何かあるのか？また、所有者で町外に住んでいる方は何人いるか？

**答** 町内には、危険空き家と言われる特定空き家は現在のところ5軒あります。所有者につきましては、すべて町外に住んでおります。

### 水道管理システム

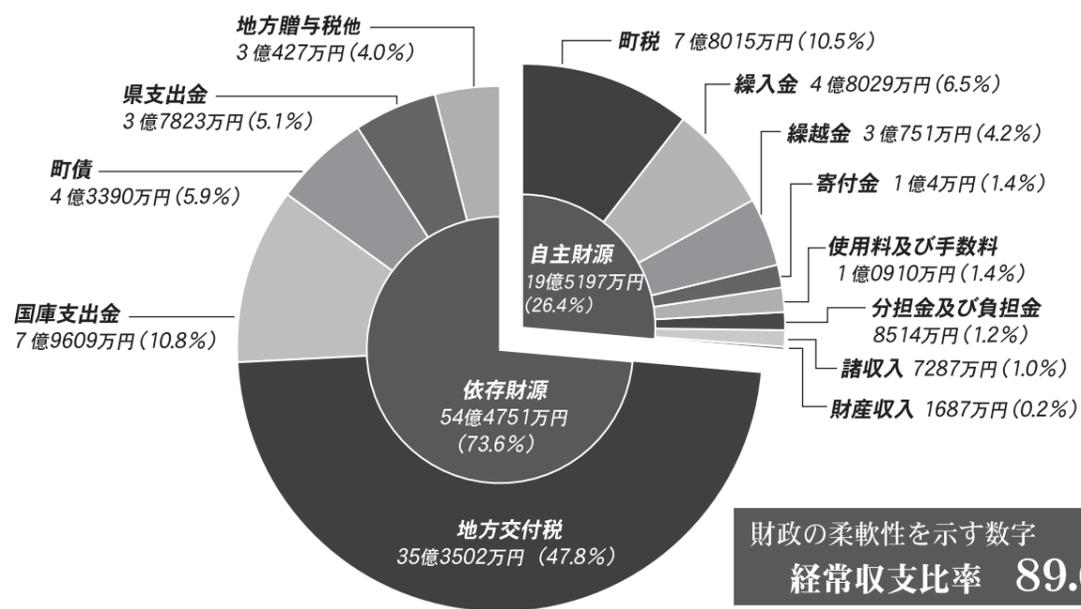
**問** 水道台帳データ移行業務の内容は？

**答** 現在のシステムを刷新して、水道・下水道のデータも併せて結びつけることで事業の効率化を図っていきます。この移行業務によりシステム更新費用がなくなり、ランニングコストの面でも大きなメリットがあります。

# 町民の血税がどう使われたのか？ 検証と課題を追求!!

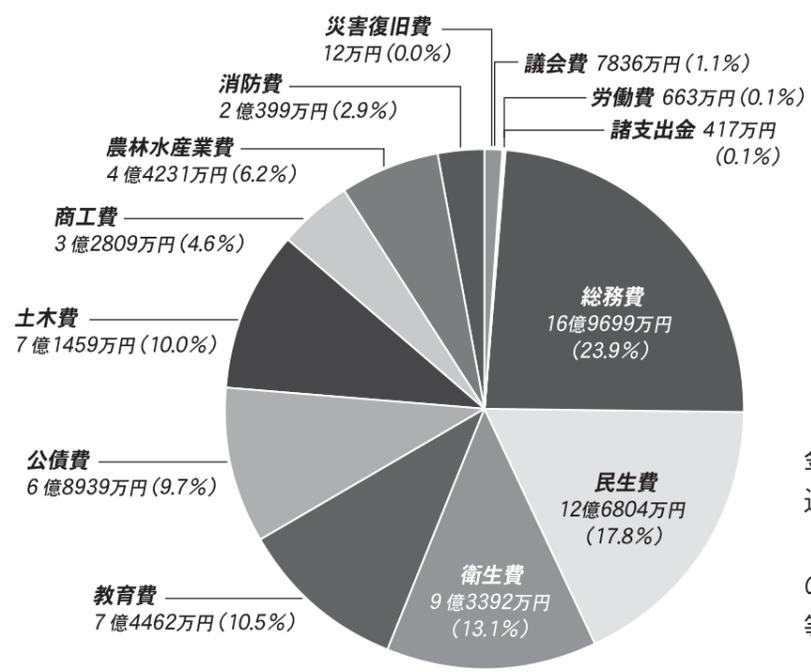
## ■ 一般会計 決算額

### 歳入 73億9948万円



財政の柔軟性を示す数字  
**経常収支比率 89.6%**

前年に比べ普通交付税が増えたことにより、昨年度より2.0%改善。依然、一般的な適正水準70~80%を大きく上回っている。



### 歳出 71億1122万円

災害などの緊急時、柔軟に使える貯金「財政調整基金」は、11億3000万円と過去最高を更新。

さらに、将来を見据えた公共施設等の解体などに使う基金として「公共施設等適正管理基金」を3000万円を積み増し。

## ■ 新型コロナウイルス感染症臨時交付金

交付額 **1億6043万円**

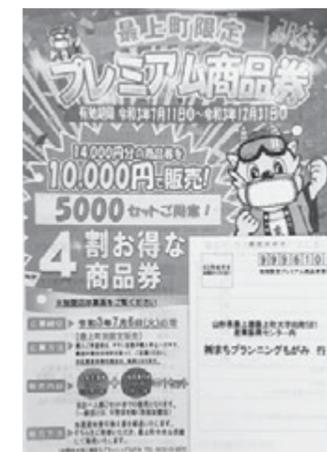
※令和2年度の繰り越し分含む

### 交付金の使い道

経済支援 31事業 ▶ 1億8036万円

#### 主な事業

- 感染症対応経営安定化緊急支援金 ▶ 3094万円
- 感染症対応米価下落対策緊急支援金事業 ▶ 3068万円
- 感染症対応プレミアム商品券事業 ▶ 3628万円
- 感染症対応もがみ温泉郷プレミアム利用券販売事業 ▶ 847万円
- 感染症対応農畜産物消費拡大支援事業 ▶ 770万円



▲好評のプレミアム商品券



▲更新された除雪機

除雪対策費 ▶ 3億178万円

#### 主な内容

- 除雪機購入 ▶ 1037万円
- 除雪委託料 ▶ 1億5650万円
- 排雪用機械借上料 ▶ 7202万円
- 除雪車修繕費 ▶ 2216万円
- 除雪オペレーター報酬(町直営分) ▶ 1453万円 ※期末手当等込

## ■ 特別会計 決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	11億6479万円	10億9880万円
後期高齢者医療	1億575万円	1億413万円
介護保険	12億4840万円	11億8456万円
最上病院	13億1862万円	13億7104万円
介護老人保健施設	3億7013万円	3億8529万円
水道	3億1938万円	4億2354万円
瀬見温泉	1587万円	1561万円
農業集落排水	2177万円	2074万円
下水道	2億5113万円	2億3793万円
浄化槽	1億149万円	9839万円

# 自主財源確保に更なる研鑽 ふるさと納税

ふるさと納税

**問** ふるさと納税について、納税窓口にあたるインターネットサイトを増やしたことでの成果は、その後の状況はどう変化しているのか？板橋区との思いやり型返礼品や子ども食堂との関わりはどのようなのか？企業版ふるさと納税はどうなっているのか？

**答** これまでのサイト数を2つから3つ増やし5つとなったことで、今年8月の寄附件数は昨年同月と比較して増えていることから少しずつ効果は出てきていると認識しております。

思いやり返礼品については、1件寄附があり、7月に板橋の子ども食堂に返礼品の贈呈を行ってきたところであり、今後板橋区と連携して取り組んでいきたいと考えています。

企業版ふるさと納税については、取り組むために必要な地域再生計画が国から認定され、現在ホームページ等で募集を行っております。今後、いかに企業にPRを行い、寄附に結びつけていくかが重要と考えております。



▲ふるさと納税 お米と牛肉の人気の高い

納税については、取り組むために必要な地域再生計画が国から認定され、現在ホームページ等で募集を行っております。今後、いかに企業にPRを行い、寄附に結びつけていくかが重要と考えております。

デマンドバス

**問** デマンド交通レインボーバスの利用状況と今後の更なる利用者サービス向上の施策方針は？

**答** 令和3年8月からデマンドバスは全町展開に移行しました。お蔭様で利用登録者数及び利用者数を伸ばして来ております。そうした中、運行便数の拡大や、発着箇所の柔軟化等の要望があるところ

です。システムの利便性の向上については、今後共目指して参らなければならぬところですが、運営経費や事業の官民連携も考慮しなければならぬ状況もあります。デマンドバスについては、高齢化社会を支える重要な公共インフラと捉えながら、ブラッシュアップに努めて参ります。

ヤングケアラー



▼はっぴーバスケット事業の一場面

**問** ヤングケアラーの把握と子ども食堂などの取り組み状況は？

**答** ヤングケアラーの把握については教育委員会、学校、健康福祉課、児童相談所などの関係機関で連携して早期発見に努め、個別のケースごとに支援を行う体制がとられています。町内で子ども食堂を運営する団体はありませんが、

最上町社会福祉協議会が今年度からひとり親家庭等に食料品などをお届けする「はっぴーバスケット」事業に取り組んでいます。

湯けむり館

**問** 昨年、湯けむり館の水道料金を下げる為の井戸設置工事をしたのに、水道料金が、減ってないのはなぜか？

**答** この度の井戸設置工事の目的としては、井水を使用することで、水道使用量の削減、並びに、温泉水の温度調整を的確に行うための二つの目的のため井戸を新設したものです。これにより現在は、温度調整が的確に行われておりますが、水道料金の削減に向けては今後、水道との切り替え工事が必要となってきます。



▲湯けむり館の経営改善が課題

**問** 今後の湯けむり館の運営のあり方を伺いたい。

**答** 現在の利用者数の状況、旧館における修繕状況などを踏まえ経営収支を十分に分析し、経営改善に向けて努力してまいります。また、旧館部分における今後の改修計画を立てながら施設の充実を図ったうえで、指定管理に移行できるように精査してまいります。

堆肥利用

**問** 堆肥の管理状況と今後の堆肥利用の見通しについて伺いたい。

**答** 町内の畜産の飼養頭数は肥育牛を中心に増加しています。堆肥の管理については各生産者が堆肥舎や堆肥にシートをかけて管理してしています。毎年、県の抽出検査も行われております。堆肥を大量に使用するアスパラガス生産は新規取組みの面積が最近は少なくなってきました。国は環境に配慮した農業を推進しており水田に堆肥を還元する事業も出てきています。しかし、町内では水田に堆肥を還元する仕組みは確立されていない状況です。今後は土地利用型の作物に堆肥を還元する仕組みづくりを模索していきます。

バイオガス利用

**問** 牛糞の活用としてバイオガス利用の発電などの考えはないのか？

**答** 飯豊町での堆肥を活用したバイオガス発電所については資料等で承知しております。町内での取組を考えた場合、主体にだれがなるのか、場所をどこにするかなどの課題があると思っております。

飯豊町のように畜舎がまとまっていて、堆肥を運搬することなくパイプライ



▲飯豊町のバイオガス発電施設

**陳情・要望** 温泉地の安全な歩行環境整備を求める声

**瀬見温泉** 陳情件名：「温泉地である瀬見町内の環境整備及び魅力向上を求める」

提出者：瀬見町内会長・瀬見2区区长 菅 俊弘  
瀬見1区区长 高橋 昌裕

主要内容：瀬見温泉駅から瀬見温泉街へ通じる義経通り、義経大橋、公園側溝の修繕  
温泉街にある道路消雪機能の更新をお願いしたい。



その後の対応

義経通りにおける歩道、公園の危険個所の修繕については本年度の道路修繕費により対応していきます。  
温泉街の道路消雪に関しては、来年度に調査費を計上して新たな消雪システムも含めて検討していきます。

**赤倉温泉** 要望件名：「旧あべ旅館の渡り廊下の撤去について」

提出者：赤倉温泉町内会長 橋本 正  
赤倉温泉観光協会会長 高橋 治  
最上町防犯協会赤倉支部長 早坂 稔男  
最上地区交通安全協会最上支部 理事 佐藤 弘・大場 修・阿部 正利

主要内容：営業を停止した旧あべ旅館の渡り廊下は、温泉街の主要な通りにあり、経年劣化による渡り廊下からの外壁やガラス、落雪などの落下物による歩行者などへの危険性があるので町道上を横断する渡り廊下を撤去して頂きたい。



その後の対応

9月定例会において関係補正予算526万円が計上され、降雪前に渡り廊下を撤去していく予定。

総務文教常任委員会 新たな調査テーマ決まる

**「ふるさと納税」から見た自主財源確保対策の確立等について**

総務文教常任委員長 橋本 正

納税をはじめ自主財源の確保が厳しい当町にとって「ふるさと納税」寄付額の確保は、とても有効な手立てと考えます。効果的な情報発信や返礼品の魅力化をはじめ、当町の特色ある新たな商品開発も見据えての調査研究をすすめていければと考えております。

併せて小中一貫校の取り組みについても調査の対象とします。

産業厚生常任委員会は、引き続き「雇用創出に向けた産業振興」について調査しています。

河川対策

**問** 豪雨災害に対処する為、河川の支障木や堆積物の除去作業が重要と考えるが、施策方針を伺いたい？



**答** 今回の豪雨災害時において発生した箇所については対応済みですが、近年の度重なる災害で堆積

積だけでなく河床低下も見られます。多くは県が河川管理者となつていて、町も連携して情報提供しております。まずは現状を深く理解していただき、対応しきれない部分に抜本的な対策を講じるよう求めていきます。

学校の部活動

**問** 教員業務の負担軽減という点で、部活動の地域移行は、今後どのように進めて行くのか？

**答** 休日部活動の地域移行は来年度より3年間を改革集中期間として地域のスポーツクラブや保護者等との連携について課題を整理しながら進めてまいります。指導者の確保についても関係機関の協力をお願いしてまいります。

旧小学校

**問** 旧小学校の維持費はどの位なのか？

**答** 各施設の光熱水費を含む維持費については、旧東法田小134万円、旧富沢小101万円、旧赤倉小106万円、旧月橋小155万円、旧瀬見小60万円、旧満沢小158万円となります。



決算特別委員長報告

委員長 佐澤 浩

今定例会の決算特別委員会に付託されました案件は、認定第1号令和3年度最上町一般会計予算についてから、認定第11号令和3年度最上町浄化槽事業特別会計決算までの11案件であります。延べ5日間にわたり委員全員から、特筆大書に白熱した議論が交わされました。自主財源の乏しい本町であればこそ、行政職員は常に選択と集中の原則のもと、不要不急の支出を心掛けなければなりません。今後も限られた財源を重要施策に配分して、人口減少社会に対応した将来にわたって、住み続けたいと思う町づくりを共に持続可能な町づくりを強く推し進めていく事が求められます。今決算特別委員会は、数年後の最上町のあるべき姿を見据えながら、今後の町づくりをしていかなければならない事象について、委員からは大所高所からの視点で選択と集中、不要不急の歳出のあり方も含め質疑されました。それでは、採決の結果についてご報告いたします。認定第1号令和3年度最上町一般会計決算については、委員全員をもって採択すべきものと決しました。また、認定第2号令和3年度最上町国民健康保険事業特別会計決算から認定第11号令和3年度最上町浄化槽事業特別会計決算までの10件についても委員全員をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。以上ご報告申し上げます。



# 町政を問う

## 4 議員が一般質問



※掲載している文章は抜粋したものです 詳しくは議会中継の議員名から選りご覧下さい

## 第5次総合計画

### 数値目標どう町民と共有する？



小林 守 議員

**町長答弁** 冊子で町民と情報共有しています

**答弁** 「総合計画」は令和3年度より10年計画としてスタートしました。この計画には「6つの基本目標を掲げ、SDGsの実践を通じて、自治協働による持続可能なまちづくりに取り組むものであります。都市と地方の共生社会を目標に、①子育て大国最上町②健康と福祉のまちづくり③産業振興と雇用の創出④バイオマス産業都市と里山再生の4本

**質問** 町民に対し、計画を目標数値として示さないのか？

**答弁** 「総合計画」は令和3年度より10年計画としてスタートしました。この計画には「6つの基本目標を掲げ、SDGsの実践を通じて、自治協働による持続可能なまちづくりに取り組むものであります。

都市と地方の共生社会を目標に、①子育て大国最上町②健康と福祉のまちづくり③産業振興と雇用の創出④バイオマス産業都市と里山再生の4本

## 消防団操法大会や各種行事を見直すべき

**町長答弁** 時代に即した消防団に向けて再構築していく



宮本 浩 議員

**質問** 操法大会については、全国でも「練習が大変で生活への影響が大きい」「災害現場で役立つものとなっていない」等と不満が出ており、消防庁の有識者検討会でも「大会を前提とした訓練が大きな負担になり、幅広い住民の消防団への参加の阻害要因となっている」と指摘を踏まえ、主催者が訓練や大会の在り方などを随時見直すよう提言したという事です。

**答弁** 操法大会は、団員が火災現場の最前線で安全に活動するために機械、器具の確実な操作や団の指揮統制という点で非常に重要なことです。しかしながら、大会までの2週間にわたる練習などを考えた場合、団員の負担が大きいの事実であります。仮に操法大会を見直すとなれば、言われる通りそれに替わる安全な消火活動及び機械

実践的な訓練の開催、たとえば山火事や近年頻発する豪雨災害を想定した訓練、部や分団単位での集落内火災を想定した訓練など、現場に即した訓練を行う事で消防団員の負担軽減になり、これからの時代に求められる地域防災力としての役割を果たせる事になると思えますが？



▲時代に即した訓練とは

**質問** 操法大会以外の訓練や行事も見直す必要があると思えます。特に春季消防大演習の訓練内容、5月の連休中に行われる開催日程などの見直しは？

**答弁** 消防団行事については、団員の負担軽減を念頭に出初式や消防大演習の開催内容の見直しを検討しているところであります。訓練の在り方、開催日程の取り方などを含めて再構築してまいります。

そのほか「消防団活動協力員の運用」「消防団再編」について質問しました

柱を實踐していきます。町では、冊子にまとめ、昨年11月に全戸配布し、目標数値が載っており、その、共有は図れているものと捉えています。

**質問** 4温泉料金、統一が望ましいのでは？

**答弁** 先の12月定例会、続く3月定例会

でも町の公共温泉施設の料金の一元化に向けて、重ねてご意見を頂いております。議員からは、グリーンエネルギーと言え温泉資源の活用については、SDGsの目標とも整合性が取れ、第5次総合計画における基本目標の一つ「幸せだね」と言えるまちづくりに向けて、心身共に健康に暮らすこととの出来る環境づくりに大きく貢献するものです。移住定住の基盤にも成り

得ます。町が管理する4つの温泉施設については、「せみの湯」「りんどう」、「健康センター」、「ゆけむり館」とバランスの取れた配置に至っているものと考えますが、次の3つの背景をもって、公共の温泉施設料金の設定を行っており、結果としてその金額には差があります。一点目としては、公衆浴場法の規定によることです。その施設が、保健衛生に係る施設分類となるものであるか、保養・休養に係る施設分類として入湯税が課されますので、料金の違いと成らざるを得ない面があります。二点目としては、施設の立地や歴史的な背景があります。



▲次の世代につながっていくもの

# 住みやすい町づくりとは



山田 則雄 議員

**町長答弁** 子どもから高齢者まで住みやすい町

**答弁** 近年、社会情勢は著しく変化し、少子高齢化による人口減少の加速、環境問題の深刻化、激甚化・多発化する自然災害の発生、更には新型コロナウイルス感染症による生活への影響など、地域の産業及び経済、安全な暮らしを守るための課題は多様化してきてお

**質問** まちづくりの課題に対して取り組んでいかなければ、「最上町に住んでみませんか？」は夢のまた夢だと思えますが、今後のまちづくりについてお聞き致します。

「第5次総合計画では理想とする町の将来像を「明日 今日よりもっと好きになれる最上町 笑顔が輝き 住み続けたくなるまちへ」とし町民一人ひとりが自分らしく豊かに暮らし続けることができるまちにしたいとの願いを込めており、将来像を達成するための方策として六つの基本目標「楽しいね」「幸せだね」「安心だね」「豊かだね」「美しいね」「住みやすいね」と言えるまちを掲げ、みんなが住み続けたくなるまちづくり、快適に暮らせる心地よいまちづくりの実現に向けて取り組んでいるところであります。

人口減少、少子高齢化は今後も確実に続くものと予想される中であっても、住みたいと思える魅力的なまちにしていくことが求められると同時に、その魅力を町内外に広く発信していくことが重要であります。

「そのほか  
「将来を担う  
若者たちの教育」  
について質問しました」



◀人口減少が進む町

# 水道事業の今後を問う



岸 錦也 議員

**町長答弁** 安全な水の安定供給を維持します

**質問** 最上町水道事業では1m<sup>3</sup>給水原価290円程度、供給単価202円程度、88円の料金不足となっており、本県でも、農業災害、河川災害、土砂災害が発生し、赤倉浄水場の配水地域で、水道水が濁り、2〜3日の間使用できなくなり、風呂は温泉に行ったり飲料水を買っています。前にも浄水場の濁りの原因の究明をお願い致しました。配水範囲の町民の皆様から料金を徴収されている水道水が濁り、工

「コキュートやボイラーが故障した時、町に請求していいのか、お風呂に入れない分、温泉の無料パスなど、ないのか。公共インフラの水道水の濁りで故障することもあると思います。町の対応も問われます。今後、早急に点検、改善が必要と思う。町の考えをお伺いします。」

**答弁** 令和3年度の町水道事業における給水原価と、供給単価の差額は87円63銭となっており、前年度の108円84銭と比較し、大幅に改善されております。



▲災害時、安定角清浄な水の確保が求められる

「全国的に水道インフラは老朽化による維持管理経費が問題となっておりますが、町では今後、国の補助事業等を要望し、老朽化した施設やシステム機器を順次更新し、浄水場同士をつなぐ配水ルートの見直し検討など、積極的に進め、将来にわたり、安全な水の安定供給を維持していくために水道の基盤強化を図ってまいります。」

「そのほか  
「陸羽東線はどうなる」  
「災害への考え」  
について質問しました」

降電被害の対応

問 5月上旬と下旬に2度見舞われた「降電」でアスパラガスとニラの被害についてどんな対応をとったのか？



▲降電で曲がったアスパラ

答 アスパラガスは2トンが傷ものとなり市場出荷できませんでした。役場職員、農協職員、山形県の県職員などの協力で3日間で売り切れました。またニラのほうは農家さんの方で選別に手間をかけるまでもない、ということ破棄いたしました。

問 降電被害の補助金について町独自の支援メニュー、県の支援メニューなどの兼ね合いは？

答 県の防電ネットの補助金が、1反歩あたり11万円ぐらいかか

るといことですが、両方の支援を受けることも可能です。

豪雨災害

問 6月27日に起きた豪雨災害の状況と見通しは？

答 建設水道課の担当部署では26ヶ所の災害現場のうち23ヶ所はほぼ完了しています。(10月時点ですべて完了)

問 町道や林道の通行に支障をきたしているところの確認、林道の排水に対する考えかたは？

答 上流の山林所有者がきちんと管理していないと、下流の所有者に迷惑がかかってしまうのも一部人災と認識されます。また林道の排水については山形県のほうに確認しながら現場を確かめてまいります。

最新 の 状況

月楯仮橋・年内完成へ

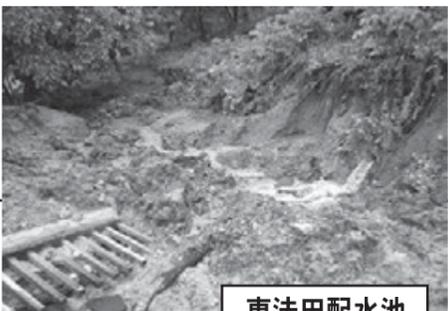
町長・議会が県に緊急要請

5月9日に通行止めとなり、山形県の説明では当初、「工事は未定で冬の間も通行止め」とのことでした。

萱場住民から「冬に迂回しなくとも済むように」「冬まで通れるようにしてほしい」との要望が出されました。そこで高橋町長、伊藤議長、伊藤・小松県議と萱場・



▲建設が進む月楯仮橋



東法田配水池



赤倉 荒沢の林道

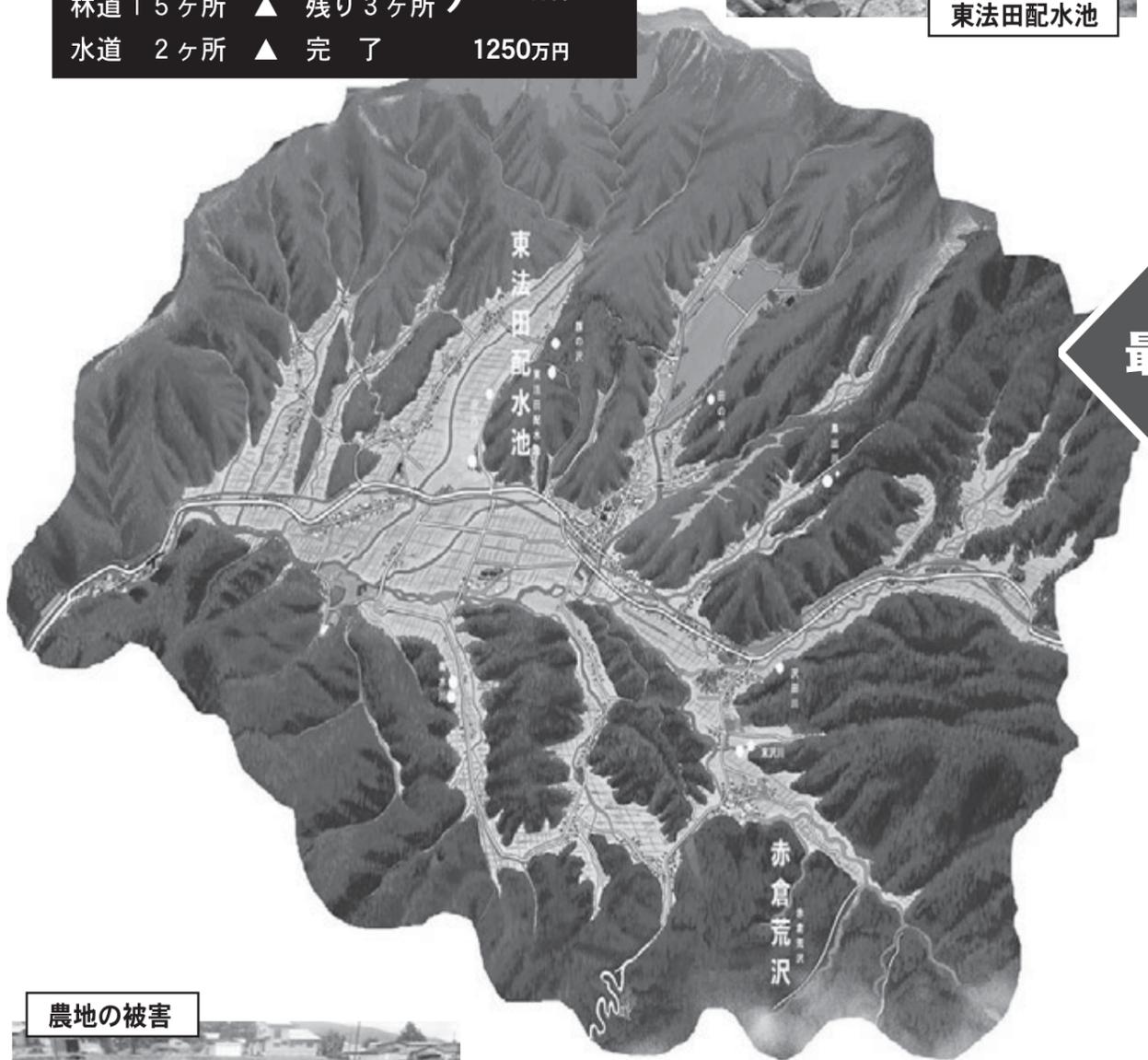
6月の豪雨被害は、町内80ヶ所のうち、10月19日現在で54ヶ所が復旧し、残り26ヶ所となりました。稲刈りが終わったら復旧予定の場所もあります。

【6月27日発生】豪雨災害 復旧マップ

令和4年10月19日現在

被害状況と現在までの復旧状況、復旧費用一覧

農道 63ヶ所	▲ 残り23ヶ所	) 5882万円
林道 15ヶ所	▲ 残り3ヶ所	
水道 2ヶ所	▲ 完了	1250万円



東法田配水池

赤倉荒沢

農地の被害



※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

7月3日

最上町消防団操法大会

コロナ禍で二年間中止されていた操法大会が、分団を十分に絞って開催されました。暑い中、きびきびとした操法で白熱した大会となりました。



7月14日

山形県町村議会議長会 広報研修会

広報編集委員会で研修してまいりました。優良事例や他町村の取り組みなど、今後の編集作業にいかして参ります。



8月16日 最上町【二十歳の集い】

今年も感染対策に気を配りながらの開催となりました。久しぶりの同級生との再会、笑顔と感動がありました。おめでとうございます！



わたしの想い

最上町の好きな所は？

「アスパラ」が美味しいこと。幼稚園の時に愛宕山に登って景色が綺麗だったこと。

【結城 慶くん（向町小1年）写真右】

陸羽東線の好きな所と存続に対しての思い

好きな所は、沿線に温泉がいっぱいある事と自然の中を赤や黄色のラインが入った車両が走って行くのが、かっこいいです。

陸羽東線が無くなったら、すごく悲しいです。僕

が高校生になったら乗るかもしれないし、お年寄りとか車の無い人が乗れなかったら、すごく不便だから絶対無くないでほしいです。みんな、お出かけに陸羽東線に乗って下さい！

【結城 壽くん（向町小4年）写真左】



議会傍聴へのご案内

次回の定例会は 12月 定例会です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数 のべ 1476 回

議会傍聴者数 のべ 8 人でした



QRコード

お詫びと訂正

最上町議会だより177号(令和4年7月14日発行)の2頁の「給食センター炊飯施設及びアレルギー対策室」の答弁の部分で「国庫補助は9千327万円」とあるのは、「932万7000円」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

▼9月定例会が例年より短い日程で行われました。山形県内では、川西町が21日、庄内町・高畠町などが15日で長い方。また大蔵村が4日、鮭川村・三川町などが7日で短い方。最上町は比較的長い方です。

▼国葬では、英国エリザベス2世の後に安倍晋三元総理が日本の世論を二分しました。海外では安定した長期政権で評価が高かった一方で、森友・加計学園のほか、「桜をみる会」などの疑念を残したままです。

▼桜といえば「前森高原」がときどきテレビコマーシャルで登場しています。二人の俳優と共に映し出される前森高原の雄大な風景と四季の桜。全国のみなさんに胸を張って自慢できるものでしょう。

(小林 守)

【広報編集委員会】

- 委員長 宮本 浩
- 副委員長 小林 守
- 委員 佐澤 浩
- 菅 孝
- 岸 錦也
- 山田 則雄